

気候変遷ミニ・ワークショップ

のご案内

6月17日(水)に、気象研究所の鬼頭先生を囲んで、気候変遷ミニ・ワークショップを開きます。興味のある方はぜひ御参加ください。

10:00 - 12:30 ミニ・ワークショップ

10:00 - 10:45 鬼頭昭雄(気象研)

☆講演30分+質問15分

「気象研究所地球システムモデルによる

過去・現在・将来気候の研究」

10:45 - 11:00 酒井治孝(京大・地鋳)

☆講演15分

「モンスーンの開始と変動に関する地質学的諸問題」

11:00 - 11:10 休憩

11:10 - 11:40 余田成男・湯浅拓也(京大・地物)

☆講演20分+質問10分

「熱帯アジアにおける降水量の季節・年々変動解析」

11:40 - 12:10 田上高広・渡邊裕美子(京大・地鋳)

☆講演20分+質問10分

「鍾乳石と樹木年輪を用いた熱帯陸域の古気候復元」

12:10 - 12:30 総合討論

12:30 - 14:00 ランチ(懇親会)

14:00 - 16:00 フリー・ディスカッション

鬼頭昭雄先生(気象研)の講演要旨

題目: 「気象研究所地球システムモデルによる過去・現在・将来気候の研究」

要旨: 気象研究所では大気と海洋を結合した気候モデルや、炭素循環・エーロゾル・オゾンモデルも取り込んだ地球システムモデルを開発しており、これらのモデルによる様々な実験を行い、地球の気候の成り立ちの解明や将来予測に取り組んでいる。現在計画中の数値実験には、2013年に発行予定のIPCC(気候変動に関する政府間パネル)第5次評価報告書(AR5)に向けての世界共通の研究計画であるCMIP5(結合モデリング相互比較実験)や古気候モデリング相互比較実験がある。その他にも地質時代スケールでのチベット高原等の大規模山岳の上昇が気候システムに及ぼす影響を調べるなどの研究を行っており、それらの活動の一端を紹介する。

6月17日(水) 午前10:00~午後16:00

場所: 理学研究科1号館 563号室